

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 25 年度 第 5 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 26 年 1 月 17 日（金） 14 時 00 分～17 時 15 分
開催場所	益田市匹見総合支所 集会ホール
出席者	・ 匹見地域協議会委員（7 名）＊別紙のとおり ・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、三嶋 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長

【協議事項】

(1) 新市建設計画の進捗状況について<資料 1 各課長より説明>

- ・ 現在ある事業が新たな計画でどこに位置づけられ、どう取り組んでいくのか個別に説明。

≪質疑・意見≫

全体について

- 本庁一括事業は、全体計画の中で匹見分が見えなくなってしまう。(学校施設整備や都市交流等)。別業でも構わないので匹見に該当するものが分かるようにしては？
 - ▷ 最終的にまとめたときにはそういった資料を参考として用意したい。
- 大きな事業（遊牧の里事業や歴史資料館）に期待してきたが 10 年間で動きが見えない。できないことをいつまでも要望しても意味がないと思う。率先してやめるべきだとは言わないが、思い切ってやめるという決断が必要な時ではないか。
 - ▷ 支所として、もし中止にした場合、その後をどうするのかということも含め、内部で検討したい。
- 匹見の活性化を考えたときに、わさびにしても交流事業にしてもそのそれぞれの分野で何がいいのか考え、見極め、過去やったことも検証しながら施策を講じていく必要がある。合併して 10 年経ち、だんだんと匹見に目が向かなくなっている。核となるものを本気で考えてほしい。
 - ▷ 匹見の特性は、やはり「人と木と水」。最終的にはそれぞれが核になるのでは。そういった視点で事業を絞って展開していければ。
 - ▷ 匹見にとって農業・林業が一番大切であろうと考えている。そうした中で、農業でいえば例えば施設野菜栽培の団地を作るなど、新しい方策を考える必要は感じている。林業については温泉を核にした展開や財産区の活用なども検討したいと思っている。
- 限られた予算の中で優先順位を付けて進めていくことは仕方ない。ただ、道路や建物ばかりでなく“文化”にも目を向けた施策をお願いしたい。文化はお金にはならないけど精神的財産になる。I ターンで子どもも増えてきた。次世代に誇れるものを残してもらいたい。
 - ▷ 皆様のご意見を踏まえて検討していきたい。

交流の里事業について

- このまま進めるのか、方向転換するのか、見直すべきでは？
 - ▷ 中山間地域総合整備事業（県事業、期間 H23～H28）の中で整備する方向。近日中に県と協議する予定があり、事業実施につながるよう地域としての意気込みを見せたい
- 県事業とはいっても市の全体計画の中でどんな事業がどういうふうに行進し、その中でどのように位置づけられているのか知りたい。
 - ▷ 全体事業としては 11 億 8,900 万円。そのうち交流の里事業としては、多目的広場として 3,000 m²、駐車場として 1,000 m²を整備する計画。事業費は 7,000 万円。現在のところ、事業費はまかなえるという方向で聞いている。
 - ▷ その他、中山間地域総合整備事業の中で匹見に該当するものとして、暗渠配水、鳥獣防止対策、防災安全施設（防火水槽）、それとこの交流の里事業。今後地元協議を含め実施に入っていく予定。
- 県ではなく市でグラウンドゴルフ場を整備する話を聞いた。できるだけ早く整備してもらえれば土地提供者も納得する。
 - ▷ 市としても計画を整備した経緯を踏まえて検討していきたい。

子供等自然環境習得施設（遊牧の郷事業）について

- 動きが見られない。進めないのであれば土地提供者に土地を返却しては？
 - ▷ 今後事業中止の方向も含めて関係者と協議していきたい。
- いい事業であったので非常に残念ではあるが、中止の方向もいたしかたないところがあると思う。そういう方向でに進まれた方がいいのでは。

市道管理について

- 道路脇の木が雪の重みでトンネルのようになることがある。計画的に伐採を。
 - ▷ 事前に地元自治会、地主等と協議して伐採している。今後も通行の妨げにならないように進めたい。地域交通確保からしてもとても重要な課題。地域で安心して暮らせるよう、検討していきたい。

もみじの里増床・ふれあいの園改修について

- もみじの里。将来的にずっと社協の指定管理を続けるのは無理があると思う。独立採算がとれるようせめて 50 床の施設に改修しては。財源としては、個人的には財産区の財産を充ててもいいと個人的には思っている。増床は雇用創出にもつながるし、匹見に貢献した諸先輩方を町内で最後まで看る、こうした視点を計画の柱にしてもらいたい。
- ふれあいの園。老人ホームに変更しては。現状の使い方は非常にもったいない。

(2) その他：匹見財産区の活用について

- ・財産区を設けたからには、何か地域に還元していかなければいけないのではないかと。そういったことから、タウンホールの改修の財源に充てるとか、そういう目に見える形で活用してはどうかということで協議はしている。今後管理会に働きかけていくためにも今後の活用について、皆さんのご意見をいただきたい。
- ・管理会としても管理ばかりではなく、有効活用していこうという意見は出ている。

《質疑・意見》

- 過疎債、辺地債も活用しながらそれでまかないきれない部分を財産区で充てるとか、いろいろ考えられる。ある程度素案を提示していただきたい。
 - ▷ 事務局としては、益田や美都に立派な文化施設があることから匹見タウンホールの改修がいいのではないかと考えている。その他にもこういうものに使っては。などという意見を出していただければ、ある程度の選択肢の中から検討できるのでは。

【報告事項】

(1) 過疎バスの料金改定について

- ・消費税増税の関係で、石見交通バス運賃が値上がりし、それに合わせて競合区間について過疎バス運賃も値上げをする。4月1日実施。周知は2月自治会長会議で。

【意見交換会】

温泉利用料金について

- ・消費税増税に合わせ、入浴料、宿泊料金の値上げが課題。3%増税分を値上げしなければ、その分を温泉がかぶることになる。ということで、現在料金設定について検討中。

匹見タクシーについて

●現在の状況は？

- ▷ 国交省の地域交通グリーン化促進事業を活用して電気自動車を購入予定とのこと。事業者と国とで直接やりとりを行っている。

●匹見タクシーは誰がやるのか？

- ▷ 補助申請は匹見タクシー椋木好郎さんでされている。今後、引継という形で聞いている。

●福祉などの面でも、雇用という面でも非常にいいことだと思っている。ただ、きちんと継続してやっていくのであれば法人化なども検討すべき。企業会計としてきちんとし、採算がとれるようそういう指導も今後していくべきでは。

- ▷ 商工会と含めてそういった相談には受けていきたい。支所としてできる支援はしていきたい。

まちづくりコーディネーターについて

●市は地区振興センターの職員を引き上げたらコーディネーターを配置すると言っているのだから、今のコーディネーターをその位置づけにすればいいのでは？

- ▷ 上公民館の職員を引き上げた場合には支所にコーディネーターを置くということになっているが、現在のまちづくりコーディネーターと、センター職員引き上げに伴って配置されるコーディネーターは違うものという認識でいていただきたい。

●今のコーディネーターの効果は果たしてどうなのか？

- ▷ 確かに現在の活動はなかなか目に見えにくい。しかし、田舎体験団体がたくさんできたりIターンの方が増えたり、直接ではないがコーディネーターが取り組んだ積み重ねの成果だと考えている。

●市の評価がそれならそれでかまわない。だったら、市の財源で配置するコーディネーターへの転換を検討したらいいのでは？

- ▷ 26年度については、まちづくりコーディネーターの財源は一般財源でということで要求している。今後査定でどうなるか分からないが、匹見地域としての考えは訴えている。
- ▷ 匹見タクシーの国庫補助申請の際にも、行政として関わりにくい部分をまちづくりコーディネーターが支援した経過がある。制度としてはとてもいいものであるので、ぜひ皆さんの方からも活用していただきたいし、自由に活動させていただきたい。

地区振興センターについて

●合併協議の際に20地区にセンターが設置された。実際、もともと中心部には必要ないという声もあった。20地区あるだけで経費がかかる。10年の節目にこの制度も見直したらいいのでは。

- ▷ 今後の地域づくりをどうするのかというのが地域自治組織で、現在動き出している。将来的な体系づくりについては、大きな転換期でもあり市内でもまとまっていない部分があり難しい。しかし、将来的には20地区で自治組織を作り、地域運営を担っていただきたい、地域の中で事業運営をしていただきたいという構想がある。匹見地域でも匹見下で3年間モデル事業として実施しているところ。